



ご卒業おめでとうございます！

小学部を卒業する3名の皆さん、中学部を卒業する6名の皆さん、高等部を卒業する7名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

小学部、中学部の卒業生は4月から新しい学部での生活が始まりますね。最初は不安もあると思いますが、自信をもって、次のステージへと踏み出してください。中学部・高等部の先輩や先生が、皆さんと一緒に学習できることをとても楽しみに待っていますよ。

高等部の卒業生の皆さん、12年間の学校生活はどうでしたか。これから先、いろいろなことに戸惑ったり、つまずいたりすることがあるかもしれません。そんな時は、学校生活で共に学んだ仲間や先生のことを思い出してみてください。きっと、その思い出が、皆さんに元気や勇気を与えてくれるはずです。新しい環境への期待と不安が入り混じっていることと思いますが、時には周りの人の力も借り、自分のもっている力を発揮して皆さんらしく前に進んでいってほしいと思います。機会があればぜひ学校にも顔を見せに来て、後輩たちに仕事や新しい生活のことなどを教えてくださいね。皆さんの経験や言葉は、きっと後輩たちにとって大きな励みになるはずです。これからも皆さんのことをずっと応援しています。



〈令和7年度 高等部卒業生 進路先〉

企業・事業所名	形態	仕事・活動内容
株式会社イロドリ 就労選択支援B型事業所ホワイトベース	就労継続支援B型	動画制作
社会福祉法人めやす箱 スマイルライフ	生活介護	軽作業、余暇活動
特定非営利活動法人 菜の花の郷 多機能型事業所あにまらず 生活介護パンダ	生活介護	軽作業、余暇活動
株式会社レイ ANA クラウンプラザホテル岡山	一般就労	管理棟の清掃
株式会社物語コーポレーション 丸源ラーメン岡山高柳店	一般就労	接客、簡易調理、清掃
国立大学法人岡山大学 総務部グッドジョブセンター	一般就労	環境整備、建物清掃
トラスコ中山株式会社 プラネット山陽	一般就労	格納作業、ピッキング

移行支援会議がありました

高等部3年生は卒業前に移行支援会議を行います。本人、保護者、学校、進路先、相談支援事業所、福祉事務所、ハローワーク、就業・生活支援センターなどの関係者が一堂に会し、本人が卒業後に地域で生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、各所が連携して具体的な支援内容を検討する会です。3年生の生徒たちは、この先自分がどんな生活を送りたいか、職場でどのような働き方をしたいかなど、緊張しながらも自分の言葉で伝えることができました。

中学部 作業週間頑張りました！

中学部は、1月28日(水)～30日(金)の3日間を作業週間として過ごしました。作業週間では、午前も午後も作業に取り組むことで、じっくりと「働くこと」について考え、学べるようにしています。作業学習は、将来の職業生活に大きく関わってくる学習であり、働くために必要な態度や習慣を身に付けることを目指しています。

目標発表会では、自分の目標を発表したり、高等部の先輩からアドバイスを聞いたりして緊張した様子でしたが、作業週間が始まると、販売会でお客様に販売することを励みに、どの生徒も自分の役割を果たしながら真剣かつ意欲的に取り組むことができました。3日間作業を続けたことで、働くことの大変さに気付いたり、休息の大切さを知ったりすることもできました。何より、最後までやり遂げたことで達成感を感じ、自身の成長を実感してとても晴れやかな表情の生徒が印象的でした。販売会では多くのお客様が来られ、自分たちが作った製品が売れていく様子に喜びがこみあげていました。報告会では、成果や課題、今後の目標を発表し、互いの頑張りを労い合いました。

今回の経験を通して「働くこと」のイメージを大切に、高等部での実習や就労に向けて自信をつけていってほしいと願っています。

<園芸班>



<工芸班>



就労選択支援って？

令和7年10月より、就労選択支援事業が始まりました。就労選択支援とは、障害のある人が自分に合った働き方を考えられるように、本人の希望や得意なこと、作業能力などを確認しながら、適切な就労先や支援につなげていくサービスのことです。就労選択支援事業所が作業体験や面談などのアセスメントを行って本人の特性や強みを把握することで、自分に合った働き方を考えたり意思決定をしたりできるようにするという考え方です。

卒業後、就労継続支援B型の利用を希望する場合、在学中に就労選択支援を利用しておくことが原則になります。令和9年4月からは、就労継続支援A型の利用を希望する場合も同様の仕組みになります。高等部在学中に複数回実施することが可能ですが、実際には県内でこの事業を始めている事業所は少ないのが現状です。また、卒業後に就労継続支援B型を利用する場合、従来は就労移行支援事業所によるアセスメントを受ける必要がありました。今は就労選択支援事業所によるアセスメントを受ける場合と就労移行支援事業所によるアセスメントを受ける場合が、複雑な事情によって居住地ごとに異なる過渡期でもあります。

そのため、現段階では高等部2年次以降の現場実習中に、該当者のみが就労選択支援のアセスメントを受けることになっています。ご承知おきください。今後、就労選択支援事業所が増えてくれば状況が変わるかもしれません。その際は、改めてお伝えいたします。